

平成30年度 香川県一般会計決算見込みの概要

平成30年度は、厳しい財政状況が続く中、将来に過度の財政負担を残さない計画的で持続可能な財政運営を進めつつ、人口減少の克服と地域活力の向上の歩みを確かなものとするため、「新・せとうち田園都市創造計画」に掲げる21の重点施策を推進するとともに、国の補正予算を活用した防災・減災対策や県独自の地域活性化対策を内容とする補正予算を編成して、災害に強い香川づくりと地域の活性化に努めました。

30年度決算は、地方譲与税の増、三豊警察署整備事業や香東川総合開発事業（柵川ダム建設）の増などにより、歳入・歳出ともに2年ぶりに前年度の決算額を上回りました。

実質収支は、41億80百万円の黒字となり、前年度に比べ7億32百万円減少しました。

また、臨時財政対策債の残高は増加しましたが、計画的な財政運営に努め、臨時財政対策債を除く県債残高は引き続き減少しました。

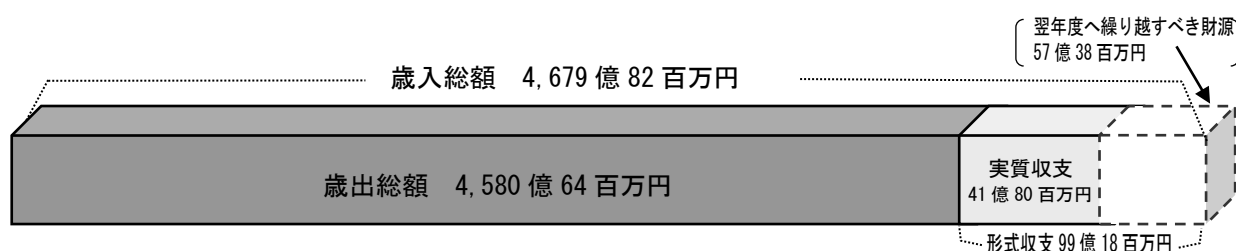
今後も、予断を許さない一般財源総額の見通しを踏まえ、「財政運営指針」に沿った財政健全化対策を講じつつ、「災害に強い香川づくり」、「人口減少問題の克服、地域活力の向上」をはじめ、「せとうち田園都市の新たな創造」の実現に向け、各種施策に積極的に取り組みます。

1 決算規模 **歳入総額、歳出総額は、ともに前年度対比増加**

- ・歳入 4,679億82百万円
(29年度 4,650億97百万円 対前年度比 +28億85百万円:+0.6%)
- ・歳出 4,580億64百万円
(29年度 4,563億51百万円 対前年度比 +17億13百万円:+0.4%)

2 決算収支 **実質収支は黒字**

- ・実質収支 41億80百万円 の黒字 ※形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額
- ・実質収支の対前年度比 ▲7億32百万円



○平成30年度の決算収支

(単位：百万円，%)

区 分	30年度 決算見込額	29年度 決 算 額	増減額	増減率
歳入総額 A	467,982	465,097	2,885	0.6
歳出総額 B	458,064	456,351	1,713	0.4
形式収支 C (A-B)	9,918	8,746	1,172	13.4
繰り越すべき財源 D	5,738	3,834	1,904	49.6
実質収支 E (C-D)	4,180	4,912	▲732	▲14.9